

総 合 評 価 基 準

「信用リスク計測システムの調達及び保守の委託」

株式会社ゆうちょ銀行
リスク管理部門 リスク管理統括部

本評価基準については、「信用リスク計測システムの調達及び保守の委託」の仕様書に基づいて定めたものであり、評価に当たっては次により行う。

なお、落札者が入札者とともに提出した提案書の内容は、仕様書等と同様にすべて納入検査等の対象とする。

1 評価方式

本調達は総合評価落札方式（加算方式）を用い、提案内容を評価した性能評価点（最高680点）と予定価格を下回った入札価格を点数化した価格点（最高680点）の合計点を総合評価点とする。

2 提案書受入基準

提案書は、仕様書に定める要求要件をすべて満たしていなければならない。これらの項目を一つでも満たしていない場合は、その後の評価は行わず、当該提案書を不合格とする。

- (1) 仕様書に定めるすべての要件を満たし、具体的な提案がされていること。
- (2) 提案書作成要領の様式及び記述項目を満たしていること。

3 相対評価項目の評価

提案書の内容を別表「提案書評価基準表」に基づき、当行にとって有益であるかを評価し、最高680点までの評価点を与える。

なお、評価は複数名で実施し、各提案書の評価点はその平均点を用いることとする（小数点以下切り捨て）。

評価	評価観点の重要度		
	A	B	C
相対的に優れている	100	60	40
相対的にやや優れている	75	45	30
標準的である	50	30	20
相対的にやや劣っている	25	15	10
相対的に劣っている	0	0	0

提案書評価基準表

No		仕様書参照箇所	評価項目	評価観点	評価方法	評価対象	評価		
1	-	1	-	仕様書に定める項目	仕様書の全ての要件を満たす具体的な提案がなされており、それが確認できること。	必須要件	提案書	合格 又は 不合格	
1	-	2	-	提案書作成要領に定める項目	提案書作成要領で示した記述項目及び記載内容を満たしていること。	必須要件	提案書	合格 又は 不合格	
2	-	1	仕様書 ・第2章1「業務機能要件」拡張性	業務機能	将来的な業務機能の拡張性について、具体的に記載されていること。	相対評価項目	提案書	A	100
2	-	2	仕様書 ・第2章1「業務機能要件」表2項番C～F	業務機能	以下について、要求要件を踏まえ、具体的な提案がされていること。 ・債務者間関係の勘案 ・親子関係の勘案 ・サブポートフォリオ設定 ・VaRの配分	相対評価項目	提案書	C	40
2	-	3	仕様書 ・第2章1「業務機能要件」表2項番G	業務機能	パラメータの提供について、要求要件を踏まえ、具体的な提案がされていること。	相対評価項目	提案書	A	100
2	-	4	仕様書 ・第2章1「業務機能要件」表2項番H	業務機能	ストレス・テスト等に活用可能なシミュレーション機能について、要求要件を踏まえ、具体的なシミュレーションパターンが提案されていること。	相対評価項目	提案書	A	100
2	-	5	仕様書 ・第2章2「性能要件」	性能	計算時間について、前提条件、要求要件及び他社での実態等を踏まえ、具体的な提案がされていること。	相対評価項目	提案書	A	100
2	-	6	仕様書 ・第2章4「セキュリティ要件」	セキュリティ	セキュリティ要件を満たす実現方法について、具体的かつ実現性のある提案がされており、項目を充足しない場合は代替案が提案されていること。 保守運行性・セキュリティの向上に係る具体的かつ実現性のある追加提案がされている場合も評価する。	相対評価項目	提案書	C	40
2	-	7	仕様書 ・第5章1「受託者に求める要件」(3)	導入実績	当プロジェクトと同等の案件に係る国内外大手金融機関での実績について、具体的な記載がされていること。また、本調達で提案するSaaS形式のパッケージについて、国内外で十分な実績があり、具体的な記載がされていること。	相対評価項目	提案書	A	100
2	-	8	仕様書 ・第5章1「受託者に求める要件」(4)	プロジェクト体制	本システム構築に必要があると判断する有資格者(または同等以上の能力を有する者)のスキル別人数を明確にし、想定される適正なプロジェクト体制について、具体的かつ実現性のある提案がされていること。	相対評価項目	提案書	B	60
2	-	9	-	その他	上記評価項目以外で、有益な事項について、具体的な提案がされていること。	相対評価項目	提案書	C	40
								合計 (満点)	680